

# 沖縄市役所農林水産課の皆さんの施設視察

2011年3月24日

沖縄市役所の農林水産課の職員の皆さん11名が来所・視察されました。



皆で仲良く、ニッコリ、「キムチ〜！」





**ヒメジャコの親貝や稚貝を観察。**

「なぜ、色(外套膜)が違うのか？」という専門的な質問をされる方もおられました。  
また、十数mmのヒメジャコを、100円で買って頂ける方も……。

ヒメジャコは、沖縄の美しい海と亜熱帯の日差ですくすく育つ太陽電池のようなエコな貝です。

ヒメジャコが海岸の浅瀬にたくさん生息することで、美しい水中景観を造り上げます。

沖縄市でも、ヒメジャコを利用した海岸景観造成は如何ですか！



**旧魚類種苗生産水槽で。**  
「水槽の底の渦巻きのような白黒線は???'との質問。  
底掃除ロボットのお掃除コースです。



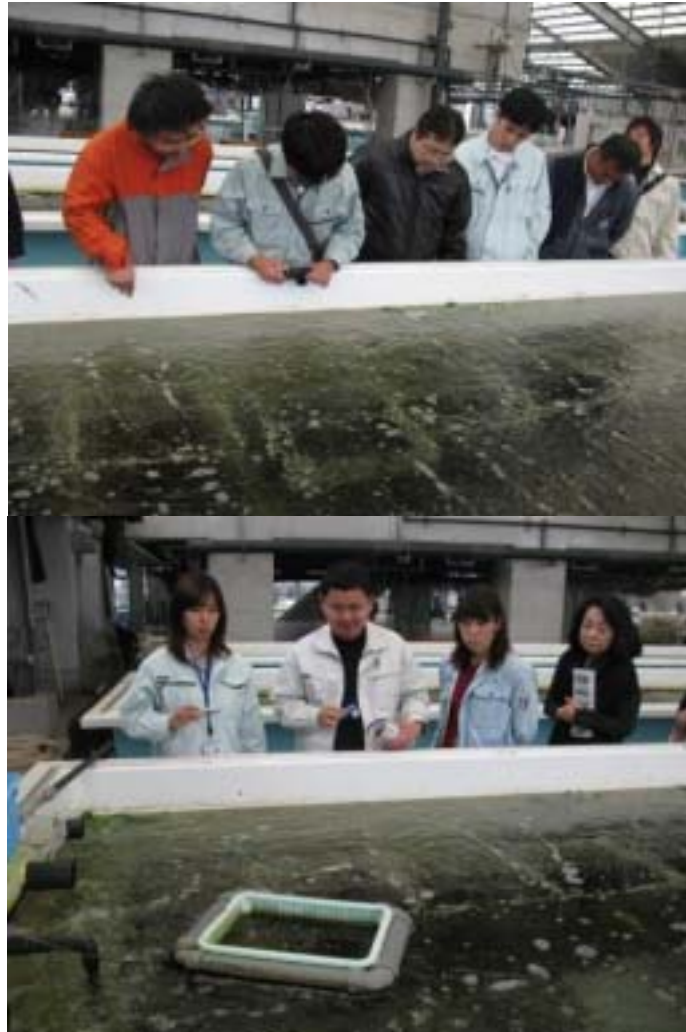
海面生簀の大きな親魚を見て感心中。  
特に大きなタマカイやサメのようなスギには驚きです。



ヤイトハタ親魚水槽で(左)。  
水槽内で産卵された卵の回収方法についての説明にうなづく皆さん(右)。

「水温や日照を調節して魚を騙し、人間の都合の良い時期に

産卵させています。まるで詐欺でしょう。」  
でも、罪には問われません。



豆粒のようなシラヒゲウニの水槽で。

「このカゴ、何ですかア～ ???」

「それは園芸用の肥料を入れたカゴで、  
ウニの餌になる付着珪藻を増やすためのものです。  
増えた珪藻を食べてウニは成長します。」



ある程度成長したウニの餌となる海藻「オゴノリ」の一種を培養している水槽で、「海藻サラダ」感覚で、ちょっと試食。ウニの心がわかりましたか？





ウニの中間育成水槽(左)と  
チョウセンサザエの中間育成水槽(右)で。



ウニの餌になるクワの葉を枝からとる作業を見て。

培養している海藻だけでは足りないので、陸草も餌にしています。  
ウニは大食漢です。

**1時間30分余にわたる視察、お疲れ様でした。**

当センターの業務をご理解頂けたでしょうか??

これを機会に、海とそこに住む生物、その保護に感心を持って頂けると幸いです。

**海の生き物、海、自然を大切にしてください。**